



桜山小学校で
地域住民と餅つき

■12月10日、桜山小学校で高齢者クラブの方々の指導のもと餅つきが行われました。使用されたもち米は、山崎巳代治さんの協力のもと5年生が自分たちで栽培、収穫したもので、おいしい餅の完成に笑顔があふれていました。



木口屋集落で
自然花まつりを開催

■12月11日、木口屋集落で子育てふれあいグループ自然花主催の「自然花まつり」が開催されました。火の神乙女太鼓や木口屋集落の皆さんによるステージのほか、さまざまな工作体験や販売に、多くの親子が楽しんでいました。



子ども食堂が市内2高校に雑巾を寄贈

■12月16日、鹿児島水産高校で枕崎版子ども食堂スマイルキッチン「にんぎまんま」から同校および枕崎高校へ不要タオルを縫って作った手作り雑巾の寄贈式が行われました。



別府中学校で恒例の門松づくり

■12月25日、別府中学校で毎年恒例となった門松づくりが行われました。おやじの会を中心に、生徒、先生、保護者、地域の方々が協力し、見応えのある門松が設置されました。



南薩の多様な専門高校に中学生の夢広がる ～南薩地区専門高校フェスタを開催

12月15日、枕崎高校で南薩地区専門高校フェスタが開催されました。

専門高校フェスタは地元の中学生に専門高校(農業・工業・商業・水産・家庭・福祉・総合学科)の魅力や特色を広く紹介し、進路選択の意識を高めてもらいながら、フェスタを通じて地域の住民・企業等へ専門高校の理解を深めてもらうために開催しています。

参加した中学生は、各校のプレゼンテーションの後、体験・実演ブースで各校や就職先となる事業所の魅力を積極的に体験し、多様な南薩地区での進路選択の参考としている様子でした。



白澤貢さんが瑞宝単光章を受章 ～令和4年秋の叙勲

令和4年の秋の叙勲が発表され、白澤貢さん(白沢東町・86)が瑞宝単光章を受章されました。

白澤さんは、昭和32年8月に本市消防団別府南分団に入団。平成2年4月には別府南分団長に就任し、平成8年3月の退団までの39年間、常に第一線で災害の防止や被害の軽減など地域の安心・安全のためにご尽力されてきました。

白澤さんは「消防団や地域の仲間、家族に支えてもらい長年頑張ってきた。支えてくれた皆さんに感謝したいです」と受章の喜びを話しました。



▲前列左から大園さん、尾辻さん、岩下さん、立石さん
後列左が兒玉教諭

鹿児島水産高校各部門での活躍光る ～3部門での活躍を報告に市長へ表敬訪問

12月22日、鹿児島水産高校の教師および生徒らが、各部門での大会結果等の報告に市長を表敬訪問しました。

各部門の結果は以下の通りです。

尾辻磨祐さん、岩下楓華さん、大園愛美さん：枕崎市漁業協同組合と共同で開発して天皇賞を獲得した「かつおポニートチップス」の開発プロセスをわかりやすく伝える内容で第31回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表大会第2位(優秀賞)、立石夏女さん：第6回全九州高等学校総合文化祭佐賀大会(書道の部)入賞(優秀賞)、兒玉代教諭：枕崎市漁業協同組合との協働による特産品開発の取り組みが評価され令和4年度鹿児島県優秀教職員表彰を受賞。皆さんのますますの活躍を期待しています。



写真はご家族の方からご提供いただきました。

100歳おめでとうございます ～立石ミヤ子さん(泉町)

12月20日に立石ミヤ子さんがめでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎出身の立石さんは3人の子宝に恵まれ、75歳頃まで自営業で節製製造業をしていました。友達が多く、世話好きで年下の方にご飯を作って持って行っていたという立石さん、長生きの秘訣は「泣き言や愚痴を言わず、気丈な性格であること」と話します。

これからも元気で長生きしてください。

ほっとホット
フォトニュース



天達朝日さんが九州大会第3位・県大会優勝の快挙 ～九州高校新人柔道大会および県高校柔道選手権の結果

11月19日と20日、沖縄県立武道館で開催された第26回九州高等学校新人柔道大会個人戦100kg級において、本市立神中出身の天達朝日さん(明桜館高校2年)が第3位に入賞しました。また、1月21日に西原商会アリーナで開催された第63回鹿児島県高等学校柔道選手権大会男子個人無差別級において優勝し、3月20日に東京都の日本武道館で開催される第45回全国高等学校柔道選手権大会に鹿児島県代表として出場します。

天達さんは「全国高校選手権や最後のインターハイ、かごしま国体でさらにいい成績が残せるよう、日々の練習を頑張っていきたいです」と話しました。



受け継いできた50年を祝い式典を開催 ～東鹿籠太鼓踊り保存会創立50周年記念式典

12月10日、瀬戸口公民館で東鹿籠太鼓踊り保存会の創立50周年を記念して祝賀会が開催されました。

東鹿籠太鼓踊りは、島津義弘公が出兵の際に兵士を鼓舞するため踊らせたと伝えられるもので、籠原、瀬戸口、中村、下園地域の有志が豊年祭の奉納という形で受け継いできた郷土芸能です。

参加者は、これまで支えてくれた地域への感謝と継承に尽力してきた先人たちに敬意を表すとともに、これからも受け継いでいく決意を新たにしました。